

# 「少年の主張」弟子屈大会

平成30年度第38回「少年の主張」弟子屈大会が5月20日に弟子屈中学校で開催され町内各小中学校の児童生徒の代表が、目で見えて感じたことや体験して思ったことなどを、会場に訪れた多くの方々に語りかけました。今年も、弟子屈高校の4人の生徒が運営に参加してくれました。最優秀賞には小学生の部で橋田泉君(美留和小学校5年)、中学生の部で青木聡一君(弟子屈中学校1年)が、それぞれ選ばれました。中学生の部最優秀賞の青木君は

7月25日に道立釧路高等技術専門学院で開催される「少年の主張釧路総合振興局地区大会」に出場します。

## 中学生の部 最優秀賞



### 野球から学んだ三つのこと

弟子屈中学校1年  
青木 聡一 君

僕は中学校に入学し、野球部に入部しました。野球部での時間を通して学んだことが三つあるので紹介します。

一つ目は言葉遣いの大切さです。今まで僕は、先輩、後輩を意識しないことが多く、友達のような関係作りをしてきました。しかし、中学校では小学校よりも、さらに先輩や後輩の上下関係が明確になります。そのため、敬語などの言葉遣いが大切になります。先輩達と楽しくはじめをもって、学校生活を送るためにも言葉遣いを心がけていきます。

二つ目は感謝の気持ちの大切さです。小学校の時のコーチがこんな話をしていました。

「先生は野球をしている生徒には、野球から多くのことを学び、良い大人になってほしいと思っています。野球から感謝の気持ちや学び、みんなで協力することの大切さを理解できる大人になってほしい。」

僕はこの言葉が心にぐさりと刺さったのです。それまで僕は、ただ野球というスポーツをやっているだけでした。しかし、コーチの言葉を聞き、野球というスポーツはただ技術を高めることだけが目的なのでなく、感謝や協力することの大切さを学ぶことも野球というスポーツをやっていく上で大切なことであると思いました。このことを忘れずに、これからも父や母、先生や先輩、そして友達への感謝の気持ちをもって野球を頑張りたいです。

三つ目は素直な心の大切さです。先日、母がこういった話をしてくれました。「自分のしていることは自分ではよくわからない。見てくれるひとが一番わかっているの。自分ではしてはいけないと思っても、本当はしていた、とか。自分で自分のことが完璧にわかるのなら、プロ野球選手やサッカー選手の監督やコーチは必要ないでしょう。だから、アドバイスをもらったなら、素直に受け止めて、そして自分の考えと比べながら行動に移してみるといいことが、何事にも大切なことなのよ。」

僕はこの言葉を聞いて、今の自分に足りないものを考えていました。それが素

## 小学生の部 最優秀賞



守ろう地球を  
美留和小学校5年  
橋田 泉 君

みなさん。みなさんは、地球温暖化という現象を知っていますか。地球温暖化は、今地球にとってもない影響をもたらしています。ぼくが、このことについて興味をもったきっかけは、アメリカの元副大統領、アル・ゴアさんが書いた「不都合な真実」という本を読んだことです。この地球温暖化は、台風やハリケーンの数が増えたり、アフリカの方では干ばつが続いて、水不足になるなどの現象を引き起こしています。このようなことは、過去にはありませんでした。ゴアさんは、このようなことは全て地球温暖化が原因だと言っています。ぼくもそうだと思います。地球温暖化の原因は、二酸化炭素にあります。今、地球の人口がとも増加して、二〇五〇年には、九〇億人を超すと言われていきます。このような人口の増加が、二酸化炭素の排出量を増やして

います。ぼく達が、大量の二酸化炭素を排出しているため、大気を抜けて宇宙へと出ていくはずの熱を逃がさなくなってしまう、地球の温度が危険なほど上昇しているのです。地球温暖化の現象は、他にもあります。例えば、南極のあと百年は安定していると考えられていた巨大な棚氷がたった三十五日間の間に、すべて崩壊してしまつたのです。このような現象を放っておくと、もう地球には住めなくなってしまうかもしれません。ぼく達には何かできることはないのでしょうか。ぼくは、自分から積極的にリサイクルや木などを植えることで、二酸化炭素を減らせると考えています。人に頼むことはできないかもしれませんが、自分たちができることならたくさんあります。ぼくが思っている中で、一番身近なことは二つあります。

一つ目は、公共の乗り物に乗ることです。みんなです。二つ目は、二酸化炭素を減らすことができます。ぼくは今年釧路高専のエンジニアクラブに参加しています。その時に、ぼくは車ではなく、JRで釧路まで行くことについて

ます。そうすることで二酸化炭素を減らせるし、親に面倒をかけなくてすむと思います。

二つ目は、LED電球を使うことです。LEDは寿命が長く、とても少量の電力でつけることができます。ぼくは、父が自分で建てた家に住んでいます。電気は買わず、太陽光で発電したものをバッテリーに貯めています。ふつうの電球だとバッテリーはなくなってしまうのですが、LEDを使うことで、電力も少しかかります。LEDは買う時にお金がかかりますが、寿命は10年近くあって、蛍光灯の三倍ほどです。LEDが2千円で、蛍光灯が千円だとしたら、結局LEDは、消費電力も少ないし、安いのです。みなさんもLED電球を使ってみてはどうですか。

ぼくの家の周りは、木がたくさんはえています。夏にはクワガタがたくさん採れます。ぼくはクワガタを採って遊ぶのが大好きです。クワガタのつかいオスが採れたときは、みんなに見せて自慢したりします。ぼくは、このようなすてきな自然が残っている弟子屈町が大好きです。この自然を残すために、これからもなるべく二酸化炭素を出さないようにしていきたいです。

お手伝いしてくれた弟子屈高校の皆さん  
山本彩香さん(3年)、野上真さん(3年)  
森内ひなのさん(2年)、白川潤奈さん(2年)

直さなのです。僕は野球を何年もやってきて、いつの間にか自分の考えは正しいと思うようになっていました。しかし、母が言ったことをよく考えてみると、自分は正しいと強く思いすぎることは、自分の成長のチャンスを失うことにもつながってしまうような気がしました。これから、監督やコーチからのアドバイスを素直に受け止めて、自分の考えと比

べながら、行動していきたいです。そして、アドバイスをくれる周囲の人への感謝の気持ちをしっかりと伝えたいです。これまで挙げた三つのことは、とても大切なことばかりです。これらのことを考えるだけで終わるのではなく、しっかりと行動に移し、成長していきたいです。そして、これからの中学校生活を充実させていきたいです。

## 小学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞 「守ろう地球を」 (美留和小5年 橋田 泉)
- 優秀賞 「動物愛護と私たちの生活」 (川湯小6年 大村 紫苑)
- 優良賞 「みんなが笑顔な学校創り」 (和琴小6年 土田 英恵)
- 参加奨励賞 「犯罪のない世の中へ」 (弟子屈小6年 有馬 葵)
- 参加奨励賞 「いじめについて考える」 (弟子屈小6年 小野 心桜)
- 参加奨励賞 「自分の目標」 (奥春別小6年 小泉 汐南)



## 中学生の部 審査結果(敬称略)

- 最優秀賞 「野球から学んだ三つのこと」 (弟子屈中1年 青木 聡一)
- 優秀賞 「少子化の問題」 (川湯中3年 日本 亜樹斗)
- 優良賞 「あの日の時 あの場所で」 (弟子屈中2年 宮田 奏海)
- 参加奨励賞 「昨日よりも強い自分に」 (弟子屈中3年 大越 愛梨奈)
- 参加奨励賞 「吹奏楽部を通して学んだこと」 (弟子屈中2年 沢原 美義)
- 参加奨励賞 「すべての子どもたちに教育を」 (弟子屈中3年 林 歩夢)
- 参加奨励賞 「私の好きなこと」 (川湯中1年 弟子 杏那)
- 参加奨励賞 「僕が野球で学んだこと」 (弟子屈中1年 城川 結磨)
- 参加奨励賞 「兄妹の大切さ」 (川湯中2年 井上 涼)

